



インスピレーションになるろう

RI 会長テーマ

2018~2019 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



＝会長指針＝

初心を忘れず、寛容の心で
よりよい奉仕を進めよう

会 長 浜田 浩誠
副会長 木下 彰則
幹 事 菅野 嘉洋

．．． 例 会 記 録 ．．．

2月第1週例会 2019年 2月 7日 (木)

ソング : 君が代・四つのテスト ボックス : 33,000円 (報告者 大西竜介会員)

お客様紹介 : 2520 地区米山記念奨学委員会委員長 白鳥 淳 様

本日出席率 : 58.49% 前回修正後56.60% (メークアップ 1名) (報告者 紀室綾子会員)

★ 会長の時間 木下彰則副会長



会長がお休みなので、会長から預かった原稿を発表します。

職業奉仕について

先月で職業奉仕月間が終わりましたので、職業奉仕に因んだ話しを致します。紙製造卸業者であるロータリアンの述懐であります。紙製造などという仕事は、社会的地位も低く、卑しい職業であって、利益も少ないし、自分は悪い星の下に生まれたなど絶望的に世の中を見ていましたが、ある日翻然としてその非を悟ったのであります。

それは、人々が毎朝食べるパンを清潔な状態で家庭に運ぶことが出来るのは、自分が作っている紙あればこそであります。

食事というものは、単に食欲を満たすために採るものではありません。人間が神の司る宇宙の秩序体系の下に帰依するための生命を維持するために食事を採るのであって、食事を採るということは、最高の宗教的な儀式であると考えられるのであります。

アメリカの東部には、この考え方があります。例えば、ミシガン大学の食堂は、ケンブリッジ大学のキングスカレッジのチャペルを模して作られています。ここでは、食事は儀式と考えられています。したがって、服装もスーツを着用します。

この様な儀式に用いられるパンは、清潔でなければなりません。それを清潔な状態で届けられるのは、自分の作った紙あればこそであります。その時に、自分は悟るところがあったというのであります。要するに、紙を作って商っていることは同じであり現象的には変わりません。それを、どの視点でとらえるかによって覚悟が違って来るのであります。これが大事なところであって、職業奉仕というのは、まさにこの考え方であります。

また、例えば、医師が診察する場合に、沢山の患者が来ているのを見て「自分の収入が増える」と考えるのでは問題になりません。そうではなくて「自分が大学以来勉強した知恵をもって、地域医療のためにどこまで潤すことができるか」と考えることによって「職業イコール奉仕」という考え方になるのであります。診察という行為は同じだが、考え方が違うのであります。そして、それが結局、職業を栄えさせることになるとロータリーは説くのであります。

要するに、職業を現象と見る限り、やっている事は同じだが、その考え方を変えるとロータリーが提唱している職業奉仕の世界に入って来るということでありませぬ。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- ・ 地区大会の案内が届いています。
記念ゴルフ大会 4月19日(金) 場所 メイプルカントリークラブ
会長・幹事会 RI 会長代理歓迎晩餐会 4月20日(土) 場所 盛岡グランドホテル
本会議 4月21日(日) 場所 盛岡グランドホテル
詳細につきましては、出欠確認の FAX でお知らせいたします。
- ・ 地区大会開催に当たりクラブ奉仕活動・プロジェクト等の写真提供のお願いが届いています。
締切り 2/28

2 ガバナーエレクト事務所より 会長エレクト研修セミナーの案内が届いています。

日時 3月10日(日) 13時～ 場所 江陽グランドホテル
登録料 10,000円(懇親会出席時) 締切り 2月25日

3 ロータリーの友事務所より 2019-20年度ロータリー手帳お買い上げのお願いが届いています。

1冊 650円 締切り 2月25日

4 (株)電通パブリックリレーションズより

「子供の貧困対策マッチング・フォーラム」告知チラシが届いています。
名札箱の前に置きますので、興味のある方はお持ちください。

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 山口ひとみ結婚支援小委員会委員長



結婚支援委員会からです。

今年度は 当西ロータリークラブでも 大船渡市と連携し結婚支援についての広報支援をする事となっております。

そのひとつの活動として地域の未来のために“出会いと結婚を応援しよう・・・”ということで結婚支援に 取り組む企業や団体等を募集しております。

現在 結婚応援企業の登録数は 114社 (2019.02月現在) になっているそうです。そして当クラブからは、クラブ登録を含め既に現在 26社の登録をいただいております。結婚応援企業って何をすればいいんだろう？配布したチラシの中の取り組み例にもありますが・・・

- ・センターから提供するイベントチラシ、ポスター等を事業所に掲示する取り組み
- ・従業員が結婚・子育てしやすい職場環境づくりの取り組みなど・・・チラシに書いてある取り組み例の中から何か1つ以上取り組んでいただければ結婚応援企業として登録することが出来ます。企業の中に結婚してない社員がいなくても登録に問題はないそうです。

また登録料・年会費等についても無料となっており、登録後には認定証が交付されホームページに掲載されるような形になります。本日配布したチラシの裏は 申込書となっております。

結婚支援委員の私と紀室さんでお声掛けさせていただきますのでご協力お願い致します。





米山アワー : 地区米山記念奨学委員会委員長 白鳥淳様講話

築館ロータリークラブ所属

長年地区で米山の委員長・副委員長を務められております。

ロータリー米山記念奨学事業とは何でしょうか。新しい会員だけでなく、ベテラン会員の皆さんの中にも、「今さら人には聞けないけど、実はあまりよく知らない…」と、いう方がいらっしゃると思います。まず簡単に、米山記念奨学事業についてご説明いたします。

米山奨学事業とは？

- 日本のロータリー**独自の事業**
(日本全国34地区の合同活動)
- 大学生、大学院生を中心に、
日本で学ぶ**外国人留学生を支援**
- **世話クラブ・カウンセラー制度**
による心の交流



ロータリー米山記念奨学事業とは、日本のロータリーが作った独自の事業で、34地区、全地区が参加する合同プロジェクトです。

1952年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。世話クラブ・カウンセラーになったロータリアンからは、「カウンセラーをして、ロータリーの楽しさを知った」「いったんロータリーを退会したが、また米山に関わりたくて再入会した」「目に見える国際奉仕の最前線。これほど面白いチャンスはめったにない」といった声が寄せられています。

事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京RC(古沢丈作会長)が事業構想。“平和日本”を世界へ(日本の友人を増やし、平和を实践する人材を育てる)
- **国際理解と親善への近道** **米山基金**
- 1957年 全国組織へ
- 1967年 財団法人設立



終戦翌年の1946年、“日本のロータリーの父” 米山梅吉氏が亡くなりました。3年後の1949年、戦争のため解散を余儀なくされた日本のロータリーが、国際ロータリーへ復帰します。

戦後、落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやろうではないかという声が大きくなってきました。

そして1952年、東京RCの古沢丈作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。

こうして、東京RCが始めた「米山基金」は、わずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

昨年2017年7月には、財団設立50周年を迎え、今年(2018年)2月には記念式典が開かれまして、ロータリアン、学友、奨学生など約700人が参加しました。

※写真は、米山梅吉翁(上)と、米山基金の構想を発表した古沢丈作氏(下)

国際ロータリーと米山

2004 RI理事会で米山記念奨学事業が賞賛される

2007 ロータリーの多地区合同奉仕活動

2014 ロータリー学友の定義拡大

米山は日本のロータリー独自の奉仕事業として作られ、発展してきました。このため、ロータリーの活動ではあるものの、国際ロータリーとは一線を画す状況が自ずと続いていました。

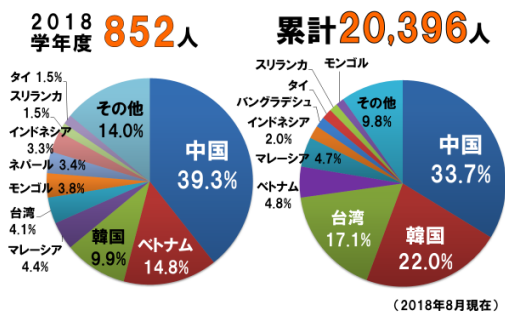
2004年11月のRI理事会で、「奨学金の授与を通し、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を称賛する」とされ、これ以降、ロータリーの名称やロータリーマー

クを今後も続けて使用することを認める、ということが決議され 2007 年には全 34 地区からの同意を得て、国際ロータリーの定める多地区合同奉仕活動として、すべての手続きを完了。

そして 2014 年 1 月の R I 理事会でロータリー学友の定義が拡大され、米山学友もまた、ロータリー学友の一員となりました。これを受けて、2016 年のソウル国際大会には世界中から多くの米山学友が集まり、ロータリーファミリーの一員として参加したのです。

1953 年以来日本のロータリアンの支持する米山記念財団は、既に日本に学ぶ 46 か国の 3,700 名（奨学会注：延べ人数）の大学卒業生に奨学金を提供しています。

国内最大級の奨学生数



米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。2018 学年度は日本全国で 852 人が採用され、現在、各ロータリークラブでお世話をいただいています。

累計では世界 127 の国と地域から 2 万 396 人を支援しています。奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。累計では中国、韓国、台湾が多いのですが、最近ではベトナムの奨学生が急増しており、今では中国に次いで、多くを占めています。

奨学金の種類

学部・修士・博士課程	10万/14万	788人
地区奨励	7万/10万	16人
クラブ支援	10万/14万	12人
海外応募者対象	10万/14万	31人
海外学友会推薦	14万	5人

米山の奨学金プログラムには 5 つの種類があります。

基本的には、大学・大学院の学生がほとんどで、学部生は月 10 万円、大学院生は月 14 万円が支給されています。

期間は半年から、長い人で 2 年間です。

大学だけでなく、それ以外の教育機関、たとえば高等専門学校専攻科（学部に対応）、短大、専門学校などからも、地区奨励奨学生として採用することができます。

クラブ支援というのは、現役奨学生の期間延長プログラムで、延

長期間の半額を世話クラブが寄付として負担しています。

海外応募者対象奨学金は、試行期間を経て、来年 2019 学年度から正式プログラムになります。

これは、日本への留学が決まっている外国人が、海外から個人で直接応募し、奨学金を予約できるものです。

最後の海外学友会推薦奨学金は、海外の学友会がその国で募集し選考・推薦するもので、対象となるのはすでに博士号を取得した上級研究者です。現在は台湾と韓国の学友会で実施しています。

当地区の米山奨学生

2018 学年度 **13人**
 【国・地域】中国・韓国・台湾・モンゴル・ベトナム・タイ



当地区では今年度、新規 10 名、継続 3 名計 13 人の奨学生を受け入れています。

国・地域別には、中国 5 名・モンゴル 2 名・ベトナム 1 名
 韓国 3 名・タイ 1 名・台湾 1 名

巣立った奨学生の活躍

・ロータリアンになった学友



231人

・ガバナーになった学友

3人

・学友が中心となって設立したロータリークラブ

5つ

巣立った奨学生の活躍

- ・全炳台氏の紹介
- ・仙台北クラ チョンビョンテ 3年米山奨学生でした。
- ・韓国米山学友会第5代会長
- ・セソウルRC元会長
- ・韓国大学名誉教授

学友会の活動【国内】

山梨・静岡



2620:スリランカへ医療支援

千葉



2790:RACとフットサル交流

大阪



関西(2660):米山教室

東京



東京:米山梅吉翁の寸劇

巣立った奨学生OB組織「米山学友会」は日本に33、海外に9つあります。

(中国・モンゴル・ベトナム・韓国・タイ・台湾・マレーシア・ミャンマー・スリランカ)

日本は34地区ですが、ロータリー地区としては2つに分かれている北海道地区での学友会は1組織として活動しているので、日本の学友会数は33

学友会の活動【海外】



ミャンマー:子どもの教育支援



台湾:台湾で米山のPR



韓国:日本人へ奨学金支援



ベトナム:養護施設慰問

当地区の学友会



恩返しの気持ち

・東日本大震災の義援金 **国内外から約760万円**

・学友からの寄付 **累計 3,339万円**

-遺言寄付



-毎年50万円、計600万以上



奨学生数は寄付額で決まる

2019学年度採用枠 **850人**

776人

40 34

寄付金総額 **50%**

個人平均 **30%**

特別寄付者割合 **10%**

有資格者数 **10%**

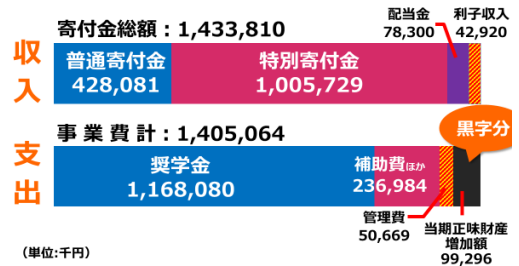
配当金枠

ひとりでも多くの会員から特別寄付を!

2019学年度割当数算出には2016年度実績を使います

ご寄付は奨学事業に

寄付は6千万円増、利息は減少



寄付実績 (個人平均)

	当地区	全国平均
個人平均寄付額	7,856円	16,068円
-普通寄付金	3,560円	4,797円
-特別寄付金	4,296円	11,271円

*今年度の当地区の目標額 (普通+特別)

1人当たり9,500円

寄付実績全国第33位

特別寄付者割合 全国平均 45.4% 当地区 18.6% (会員の中で、個人として特別寄付をした人の割合)

本年度1月末寄付状況 地区 34地区中29位

大船渡西 RC 普通寄付 132,500円 特別寄付 45,000円

当クラブ寄付実績 (前年度合計)

普通寄付金	130,000円
特別寄付金	485,000円
合計	615,000円
通算寄付金	12,241,000円

当クラブ寄付実績 (個人平均)

	大船渡西	全国平均
個人平均寄付額	11,603円	16,068円
-普通寄付金	2,452円	4,797円
-特別寄付金	9,170円	11,271円